

スペース・店・講座・印刷物・等々、人々のエネルギーが集まる「場」の紹介

# らきゅー 月の村・太一や (岡山県総社市) の要



↑月の村の中心あたりを歩くとろん。(左)「大地の再生」の人達の協力で竹を使った風のトイレとできている。

問い合わせ: 090-7121-1951 とろん  
Eメール: toron\_2011@outlook.jp  
<https://amanakuni.net/toron/>

**とろん** ●40年前の航空写真を見たらね、きれいに三日月型の棚田が広がってるよ。光ってる。僕がきた時はそこまで行く道もなくて、まったくの自然の状態。昔の人は棚田をやってたけど、僕はそこを大人と子供が遊んだり、山と行ったり来たりするものになればいいと思っていて。建物なんかはパオだとかティピだとか、テントとか、ツリーハウスだとか、映画のロケみたいなかんじ。タイで村を2回つくって、そこで祭りをやってきたりしたんだけど、日本に帰ったらそういうのは一切やめて(笑) 違う世界に行こうと思ってたんだけど、ここに来て最初は土地とかなかったのに売ってくれたり、草刈りしながら進んでいって、ほんとにきれいな飲める沢を発見したときに、また火がついたんよ。ここで村をつくってまたお祭りやりたいみたい。ちょっとワンパターンのだけだね。(笑)

こんどの祭りは来年の2月22日から22日間やる。最終日が3月15日。その日は僕にとろんという名前をつけてくれた最初の奥さんが亡くなった日で、来年が30回忌になるんだ。その辻褄でやっぱりやるっていう風に決めた。

— とろんは命日が好きだよ。命の日！

● そうだね。なんでかすごく好きだな。たぶんうちの世界とこちの世界が融合して、展開の方向が、光が差し込んでくるっていう体験を何回もしてるから。命日になにか天に届くようなことをすれば、自分がさらに生き延びられるという。

— いったいいつまで生き延びるつもり？

● 今のところは120位まで元気でいこうかな。

— これまでの祭りとは何かちがうところは？

● 今までの祭りは、借りた土地なんかでやってた

本誌にときどき登場してくれるとろんが総社市 鬼ノ城の古民家カフェ「太一や」を始めてもう6年になる。彼がその周辺約3万3000坪の土地を入手し、太一やの奥に「月の村」というスペースをつくって来年2～3月に祭りを計画していることは本誌1月号にも載せたとおり。その土地はほとんど山がちだが昔田んぼだった時の段々の石垣が残り、沢も2本流れている。それは総社市内を流れている砂川の源流部分で、そのまま飲める水だ。そこで切り開かれつつある月の村の構想と来年の祭りについてもっと詳しく聞こうと3月に太一やを訪れた。(あ)

けど、けっきょく相手の都合によって祭りの後が続かないよ。でも今回は自分の場所だから、祭りの前の今からでも後でも続けて行くことができる。祭りが終わったら撤去するというのはいものすこいやで、祭りでできたものをそのまま残して、それを訪ねて来た人や近所の人たちがそのまま使って日常生活に持って行くっていう、それをやりたいんよ。今はあと一年しかないけど、祭りに向かっていって、何ができるかな。66日間の祭りのときはその宙心閣(\*斜面に建っていて下の庭から見ると3階の高さの塔のような建物)ができたのよ。

今度はどうなるか。まあ名乗りを上げてる人はいて、ジュピタリアンの山ノ内さんがワークショップでツリーハウスか何かあそこで建てるとか。どっちにしても、こっからやってくれて頼むかんじじゃなくて、100%自分からやりたいって言う人がやる。ミュージシャンもお店もそうだし。自分が選んでっていうのは神田さおりくらいだな。でも本番までどうなるか全くわからない。

— いつもそういうやり方だね。

● 2007年のムーンピレッジ(タイ)の祭りの時には来た人が、ごくふつうの建物がたってる村で、特に旗も何もなくて祭りの気配が全くないから驚いて、自分で旗たてたりとかなんかしはじめた。でも僕にとってはそれに向かって5年はものすごいエネルギー費やして、風景を作ってるわけだからね。

ここの月の村だって、誰か連れて行って平地になったところを見ても、元々平地だったと思うけど、最初の段階を知ってる人は、えっ！ここまで開いた？と思う。だから祭りの準備は草刈りしたり、日常生活で薪とったりしながら、適度な発信をしながら、本番までそれを行くかんじ。

— 月の村までは車が行けないから歩いて行くしかないよね。

● そうそう。あそこまでは一輪車で運ぶしかない。だからテントたてるにしろ大変よ。月の村はまだ全部は切り拓いてないので、開いてからイメージがわくかんじかな。ぎりぎりまで発信をしつづけて、そのワナに引っかかった人が(笑) 集まってきてどのようになるかが決まる。

— 祭りには人を惹きつける磁力があるよね。

**みんなのエネルギーが集まってきて渦を巻いて、巻き込まれたり巻き返したり(\*とろんの言葉)。自分が主催者になってやるわけは？**

● たぶんそういうのが好きだね。(笑) やっぱり集まってくるメンバーのエネルギーだろうな。一番それを感じたのがレインボー2000の時(1999年、東京代々木公園) ファッションショーをやったんだけど、リハなんか一回しかやってないよ。それでいきなりやっとうまく進行していくエクスタシー。(笑)

— その味が忘れられない？

● そうだね。それまで準備して仕込んでいくのはカレー作っているのとおんなじか。味噌なんかもそうだけど。最初は頭で考えて準備していくわけだけど、なんかのタイミングで湧き起こってきて、それを一生懸命やっていくってかんじだね。

2007年の祭りの時は7月7日に僕らの結婚式から始めたんだけど、ステージがまだできてなくて、式が終わったらみんなで作りましようって作り始めた。それで音響の機材とかはあったんだけど、機材を扱える人が誰もなくて、けっきょく知久さんがやってくれたんよ。(笑) そういう、ギリギリの所を用意しておいて、あとはその時の流れで誰がどう動くかみたい。怖いといえば怖い(笑)。

悠● でも今回は場所がいいから、何も決めない方が面白くなるかも。

★5/16(日) **太一やで月の村散策**

am11～自由解散 太一やでランチします。  
持ち寄り一品+太一やで1オーダー  
主催：お山の会  
→<https://ux.nu/4xrHJ> = イベント情報



↑悠さんととろん(月の村基金の写真)